

新型コロナウイルス感染症の影響及び岸和田市の産業振興に関する 事業者アンケート調査 結果報告＜概要版＞

令和 3 年 10 月

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、事業者を取り巻く状況が変化していることが推察されることから、経営実態を把握し、今後の市の施策の参考とするため実施しました。

また、新たな「産業振興ビジョン」及び「産業振興新戦略プラン」を策定するため、改めて現場の実情を把握することが必要となっていることから、今後、個別・具体的な支援の方法を検討する参考とするため、本調査を実施しました。

2 調査概要

調査対象者： 市内の事業者

調査期間： 令和 3 年 7 月 13 日（火）～ 7 月 28 日（水）

調査方法： 郵送配布・郵送回収による本人記入方式

3 回収結果

有効配布数	有効回収数	有効回収率
2,927 件	717 件	24.5%

4 報告書の見方

◇回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

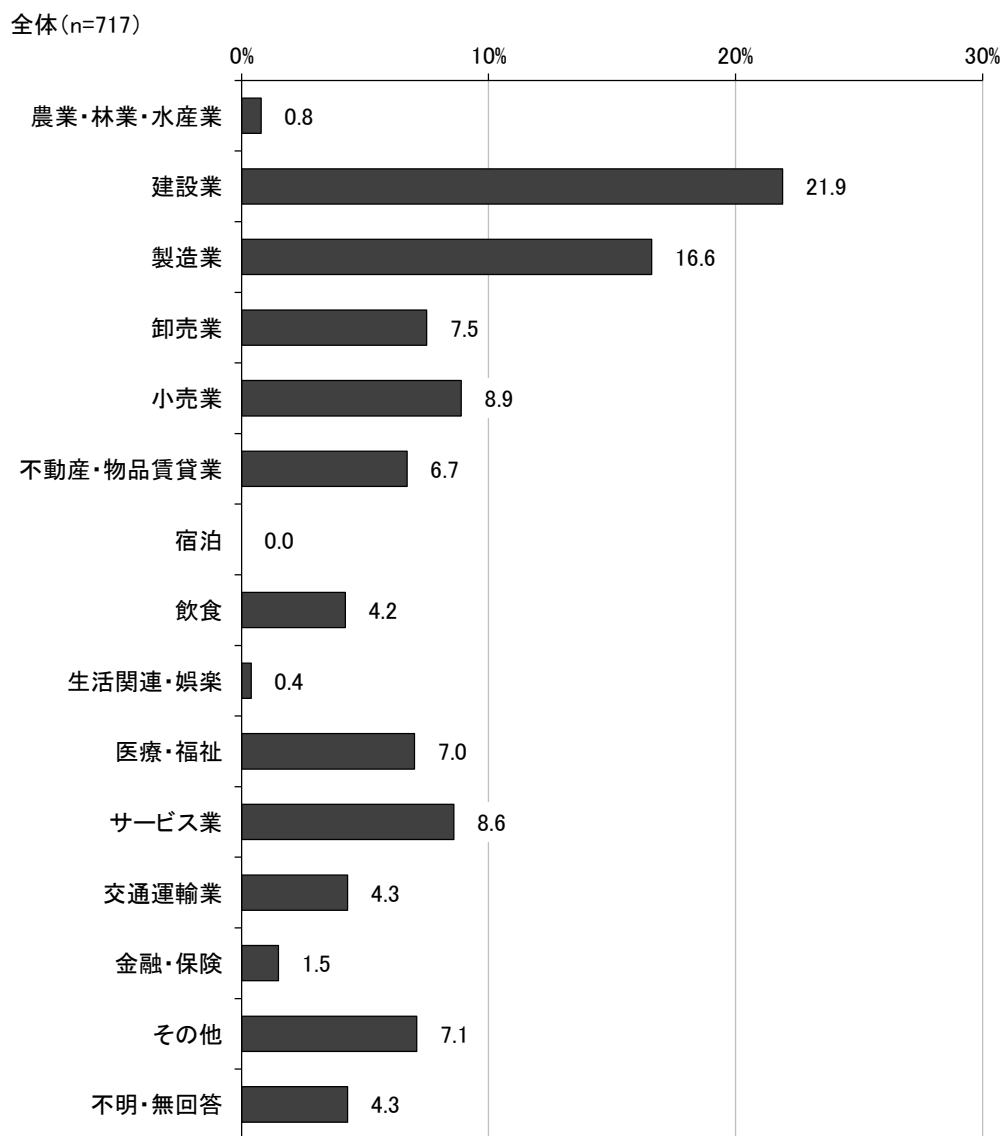
◇n 数が 10 未満の場合、分析文では触れていません。

Ⅱ アンケート調査結果

1 貴社について

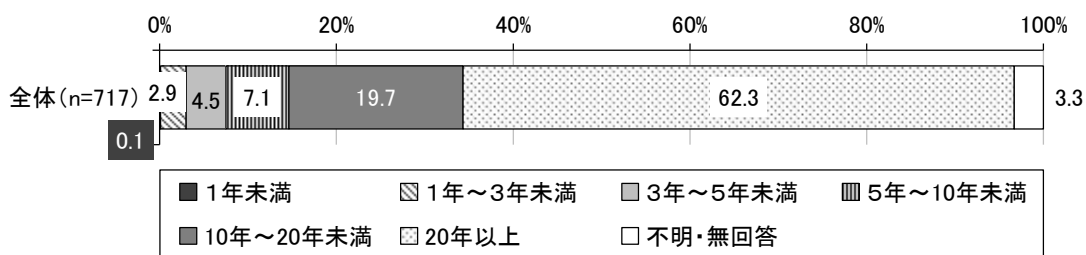
問 貴社の業種(主な事業)を教えてください。(〇は1つ)

業種についてみると、「建設業」が21.9%と最も高く、次いで「製造業」が16.6%、「小売業」が8.9%となっています。



問 貴社の現在の所在地での事業継続年数は、何年ですか。(〇は1つ)

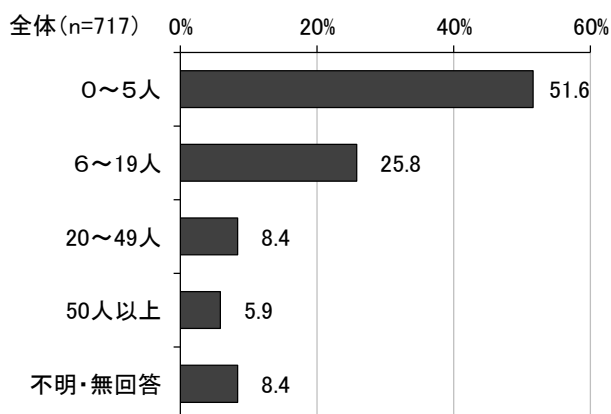
現在の所在地での事業継続年数についてみると、「20年以上」が62.3%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が19.7%、「5年～10年未満」が7.1%となっています。



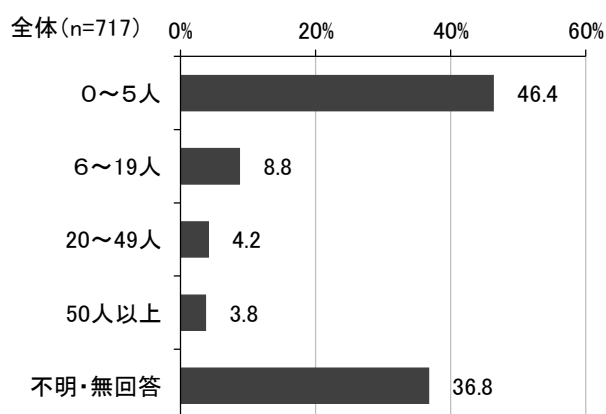
問 従業員の人数を記入してください(経営者は含みません)。(数量回答)

従業員の人数についてみると、正規従業員数では「0～5人」が51.6%と最も高く、次いで「6～19人」が25.8%、「20～49人」が8.4%となっています。また、パート・派遣者など非正規従業員数では「0～5人」が46.4%と最も高く、次いで「6～19人」が8.8%、「20～49人」が4.2%となっています。

【正規従業員数】

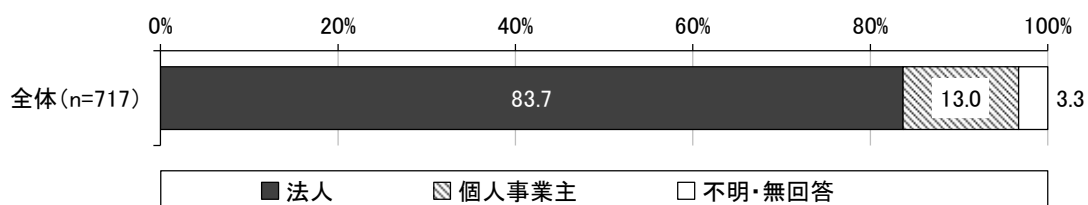


【パート・派遣者など非正規従業員数】



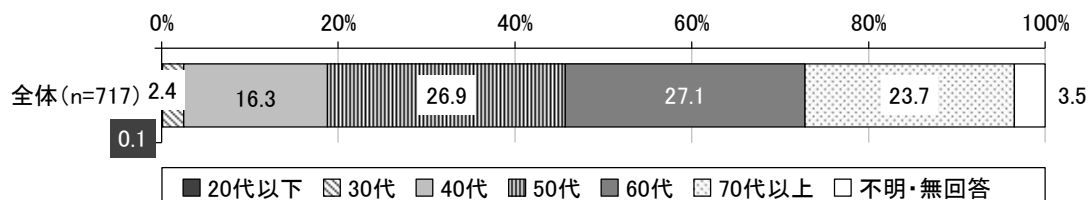
問 法人か個人事業主かを教えてください。(〇は1つ)

法人か個人事業主かについてみると、「法人」が83.7%、「個人事業主」が13.0%となっています。



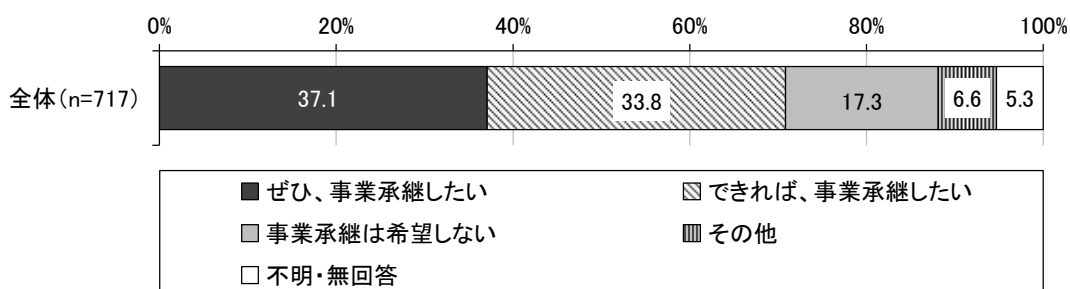
問 経営者の年齢を教えてください。(〇は1つ)

経営者の年齢についてみると、「60代」が27.1%と最も高く、次いで「50代」が26.9%、「70代以上」が23.7%となっています。



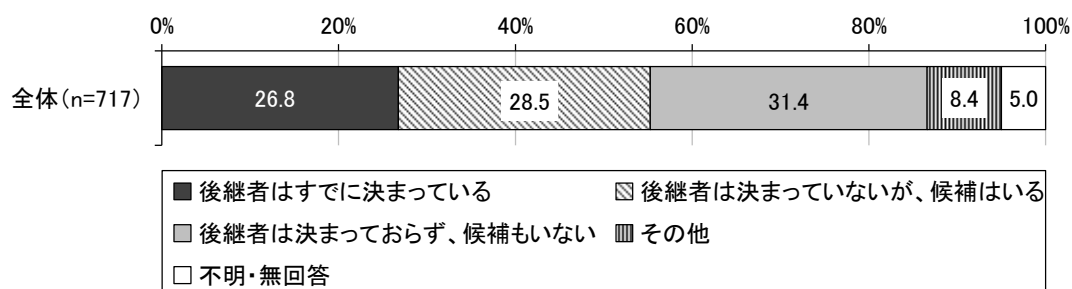
問 事業承継の意向について教えてください。(〇は1つ)

事業承継の意向についてみると、「ぜひ、事業承継したい」が37.1%と最も高く、次いで「できれば、事業承継したい」が33.8%、「事業承継は希望しない」が17.3%となっています。



問 後継者の予定はいかがですか。(〇は1つ)

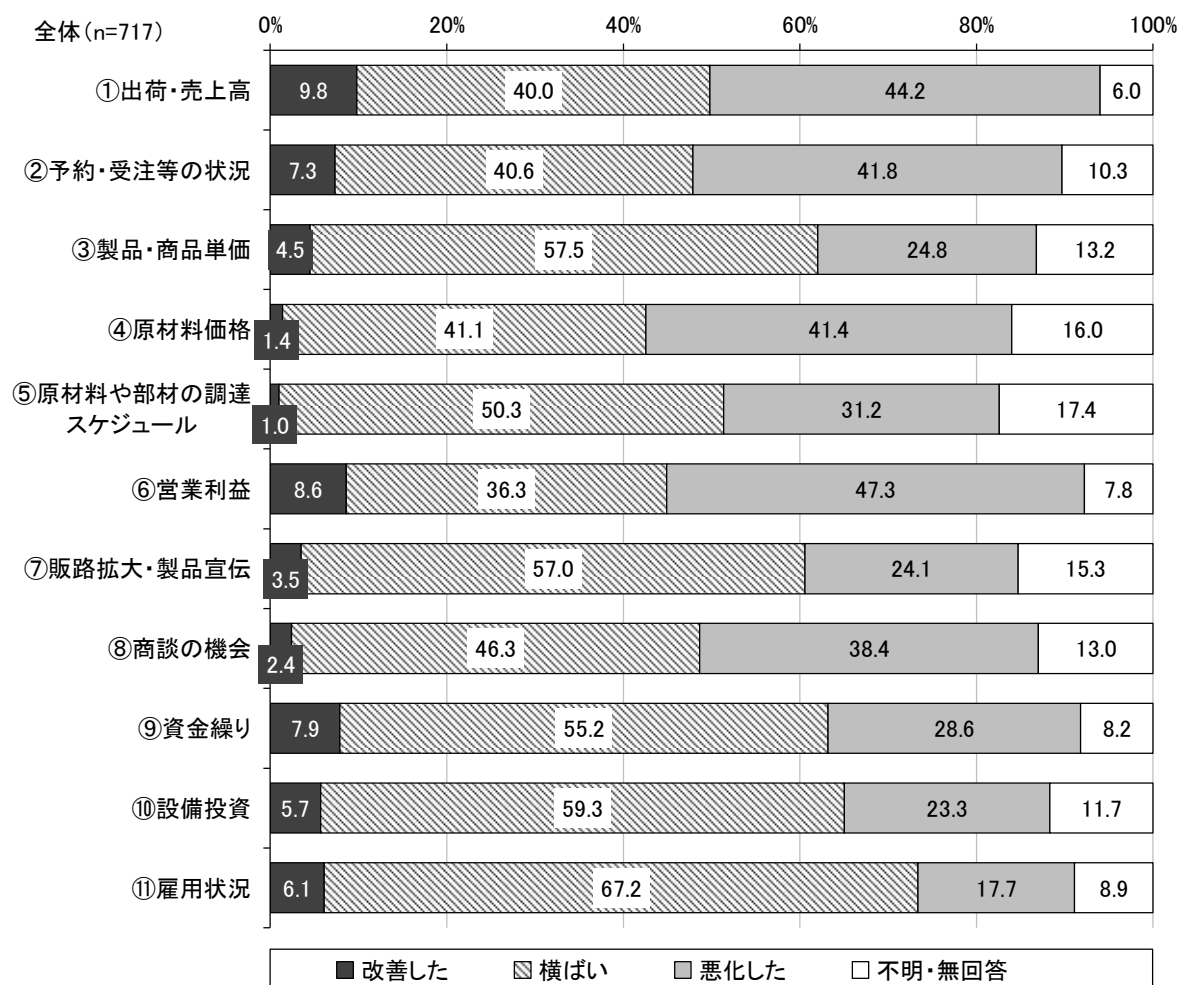
後継者の予定についてみると、「後継者は決まっておらず、候補もいない」が31.4%と最も高く、次いで「後継者は決まっていないが、候補はある」が28.5%、「後継者はすでに決まっている」が26.8%となっています。



2 新型コロナウイルス感染症による経営への影響について

問 直近の業況(令和2年10月～令和3年6月)と前年同期(令和元年10月～令和2年6月)と比較して、以下の項目についてお答えください。(各項目〇は1つ)

直近の業況と前年同期の比較についてみると、①出荷・売上高、②予約・受注等の状況、④原材料価格、⑥営業利益では「悪化した」が最も高く、次いで「横ばい」、「改善した」となっています。③製品・商品単価、⑤原材料や部材の調達スケジュール、⑦販路拡大・製品宣伝、⑧商談の機会、⑨資金繰り、⑩設備投資、⑪雇用状況では「横ばい」が最も高く、次いで「悪化した」、「改善した」となっています。



出荷・売上高

出荷・売上高の前年同期比で増減した割合をみると、「改善した」では「10～19%」が21.4%と最も高く、次いで「70%以上」が12.9%、「10%未満」が11.4%となっています。「悪化した」では「10～19%」が17.0%と最も高く、次いで「30～39%」が13.6%、「20～29%」が13.2%となっています。

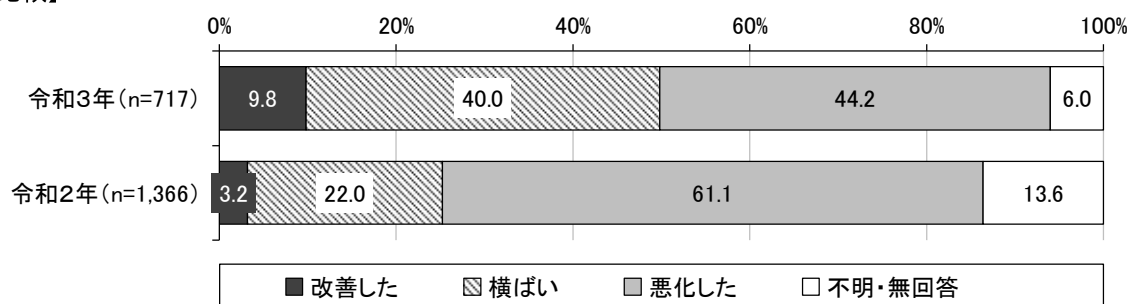
出荷・売上高の前年同期比で増減した割合の経年比較をみると、「改善した」では令和2年から「10%未満」が15.9ポイント低く、「悪化した」では令和2年から「30～39%」が5.7ポイント低くなっています。

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が16.9ポイント低く、「横ばい」が18.0ポイント高くなっています。

【経年比較(前年同期比で増減した割合)】

単位: %		10%未満	10%～19%	20%～29%	30%～39%	40%～49%	50%～59%	60%～69%	70%以上	不明・無回答
令和3年	改善した(n=70)	11.4	21.4	8.6	5.7	4.3	1.4	0.0	12.9	34.3
	悪化した(n=317)	5.7	17.0	13.2	13.6	7.3	8.2	2.8	12.6	19.6
令和2年	改善した(n=44)	27.3	22.7	11.4	9.1	2.3	9.1	2.3	9.1	6.8
	悪化した(n=835)	4.4	13.1	18.1	19.3	8.6	12.6	4.9	10.5	8.5

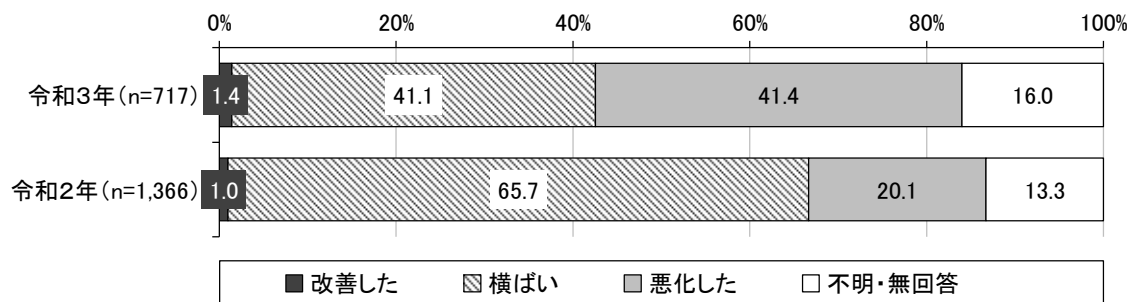
【経年比較】



原材料価格

経年比較をみると、令和2年から「横ばい」が24.6ポイント低く、「悪化した」が21.3ポイント高くなっています。

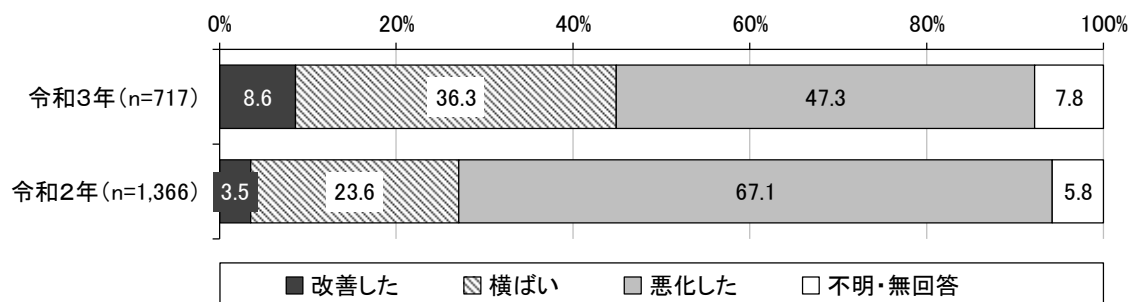
【経年比較】



営業利益

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が19.8ポイント低く、「横ばい」が12.7ポイント高くなっています。

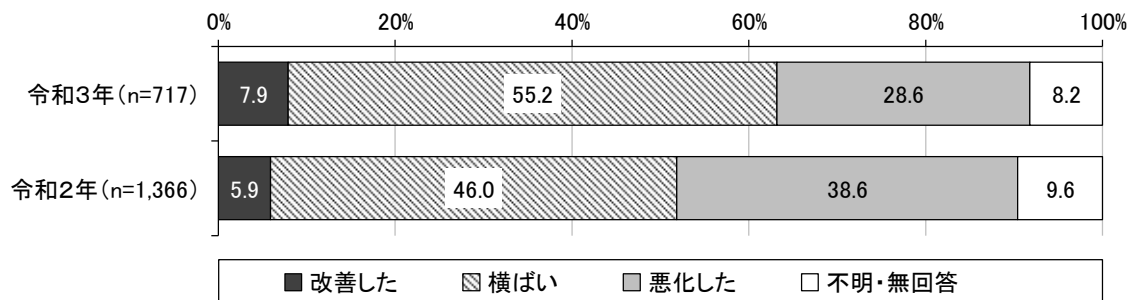
【経年比較】



資金繰り

経年比較をみると、令和2年から「悪化した」が10.0ポイント低く、「横ばい」が9.2ポイント高くなっています。

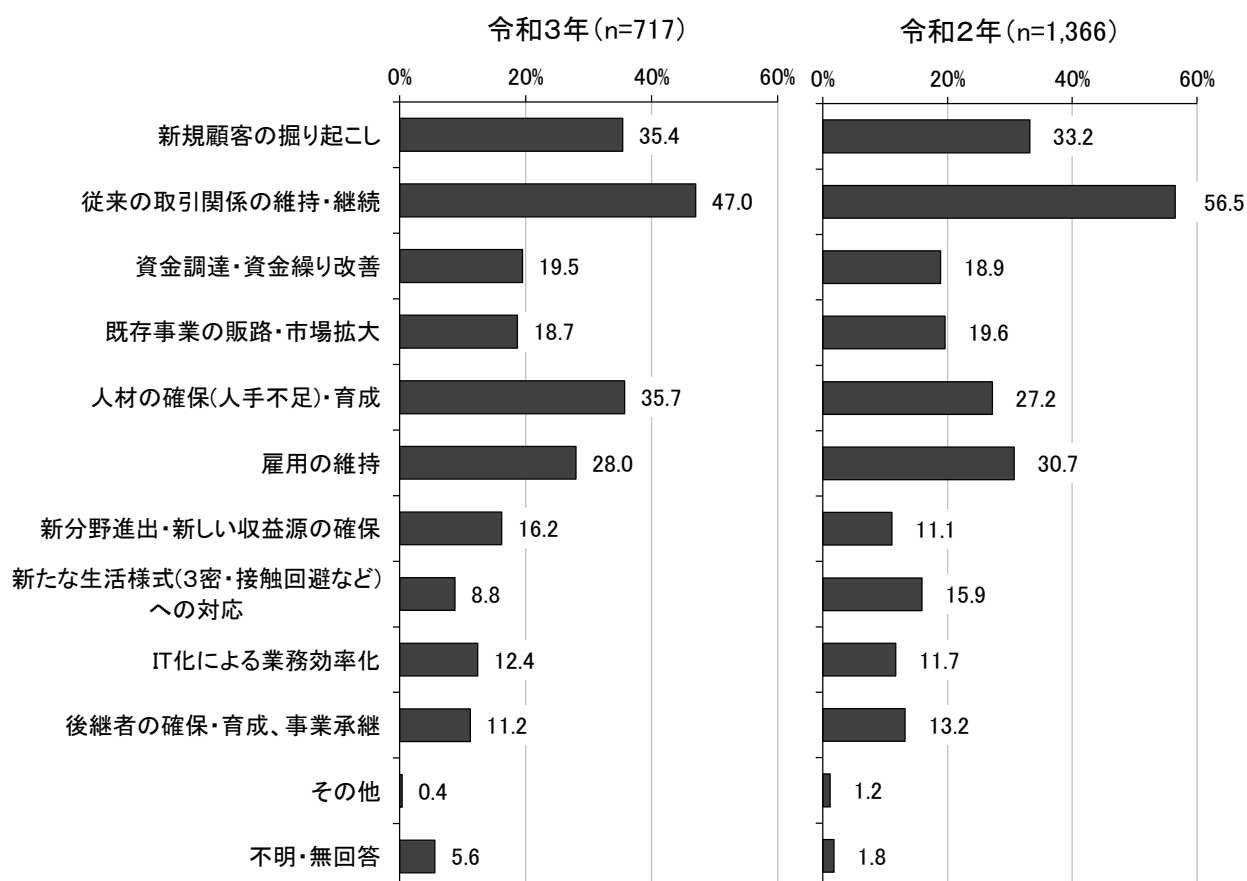
【経年比較】



問 新型コロナウイルス感染症をふまえて、貴社が今後重点的に取り組みたい経営課題について教えてください。(〇は最大3つまで)

新型コロナウイルス感染症をふまえて、今後重点的に取り組みたい経営課題についてみると、「従来の取引関係の維持・継続」が47.0%と最も高く、次いで「人材の確保(人手不足)・育成」が35.7%、「新規顧客の掘り起こし」が35.4%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「従来の取引関係の維持・継続」が9.5ポイント低く、「人材の確保(人手不足)・育成」が8.5ポイント高くなっています。



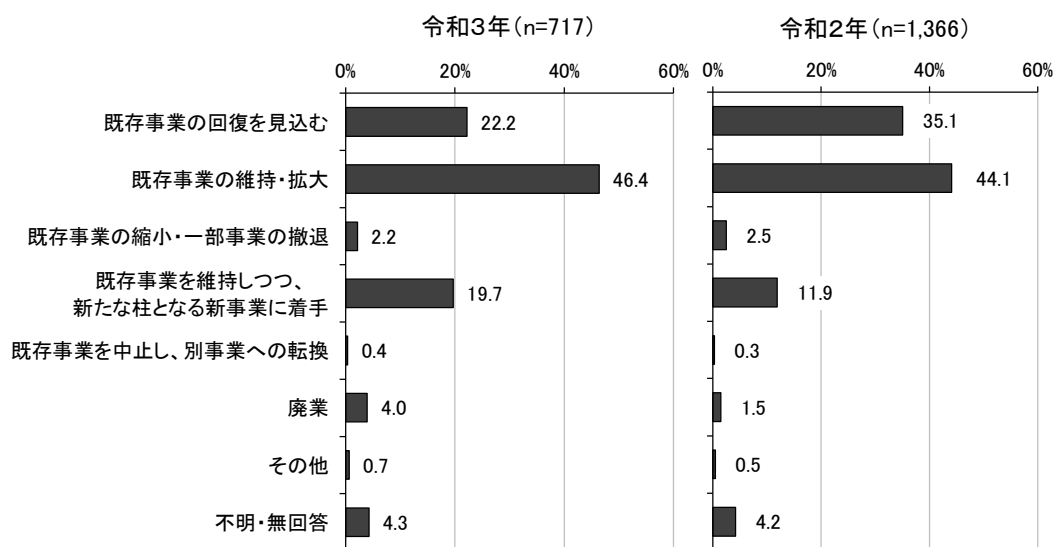
3 既存事業と新規事業について

※本アンケートでいう「今後」は、「概ね10年先まで」を意味することとします。

問 今後の展望・方向性について教えてください。(〇は1つ)

今後の展望・方向性についてみると、「既存事業の維持・拡大」が46.4%と最も高く、次いで「既存事業の回復を見込む」が22.2%、「既存事業を維持しつつ、新たな柱となる新事業に着手」が19.7%となっています。

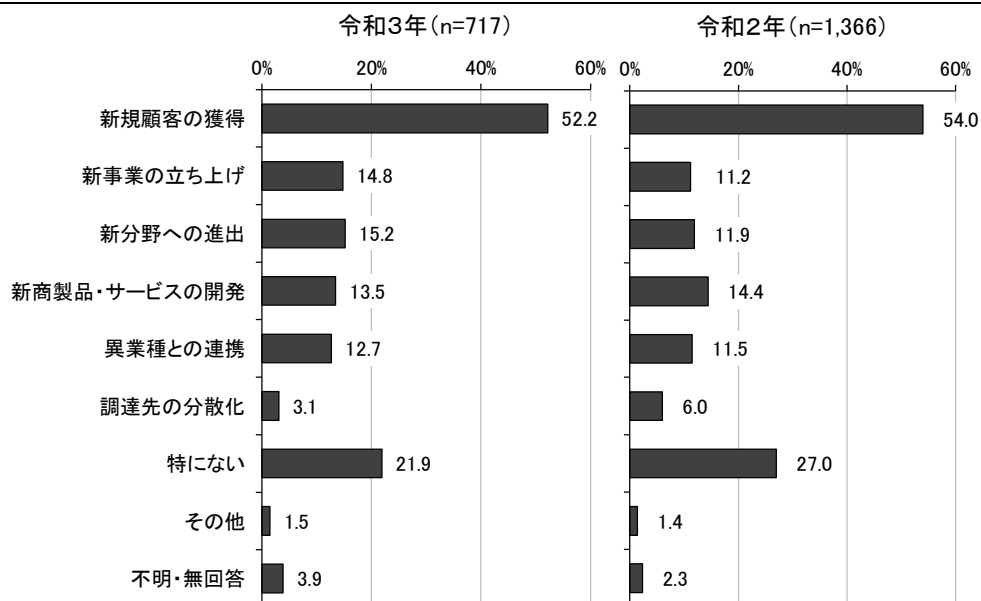
経年比較をみると、令和2年から「既存事業の回復を見込む」が12.9ポイント低く、「既存事業を維持しつつ、新たな柱となる新事業に着手」が7.8ポイント高くなっています。



問 今後の新規または強化する取り組みを教えてください。(〇はいくつでも)

今後の新規または強化する取り組みについてみると、「新規顧客の獲得」が52.2%と最も高く、次いで「特にない」が21.9%、「新分野への進出」が15.2%となっています。

経年比較をみると、令和2年から「特にない」が5.1ポイント低く、「新事業の立ち上げ」が3.6ポイント高くなっています。

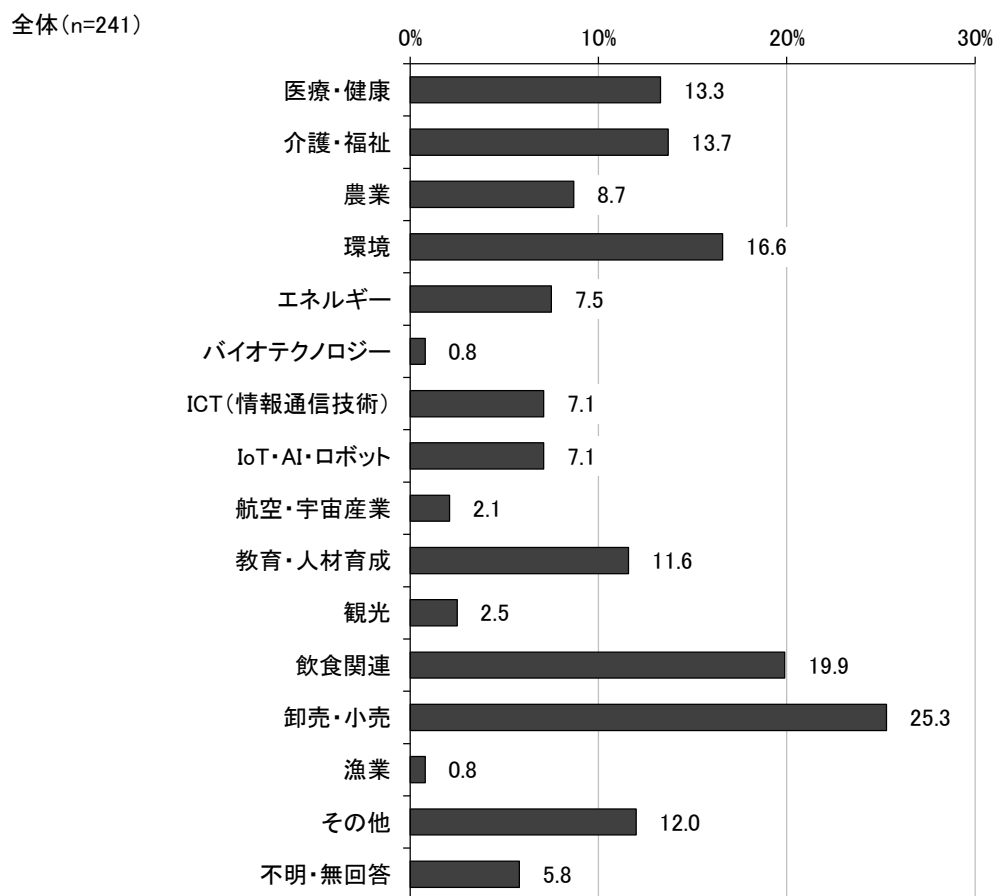


前問で「新事業の立ち上げ」「新分野への進出」「新商製品・サービスの開発」と答えた事業者
問 今後取り組みたい分野は何ですか。(〇はいくつでも)

今後取り組みたい分野についてみると、「卸売・小売」が 25.3%と最も高く、次いで「飲食関連」が 19.9%、「環境」が 16.6%となっています。

業種別にみると、建設業、製造業、不動産・物品賃貸業、サービス業、その他で「環境」が 2 割台となっています。

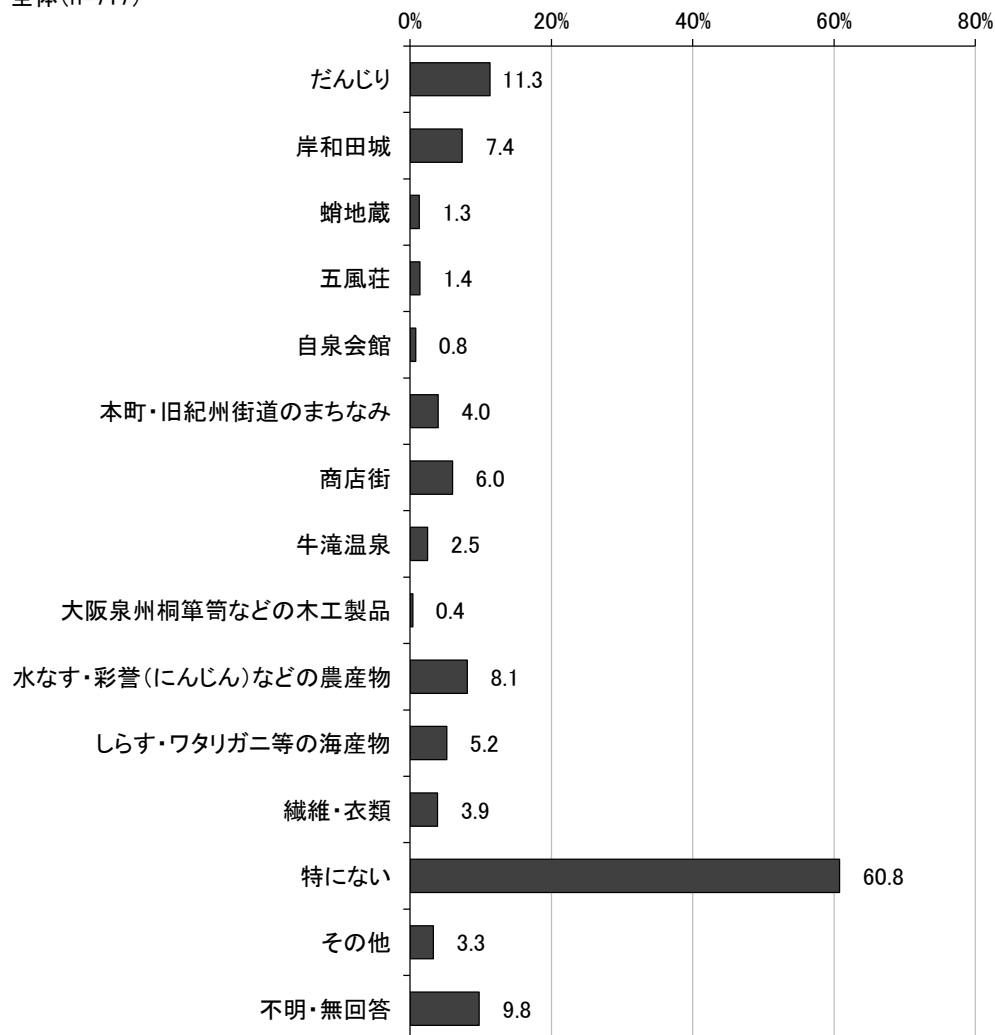
経営者の年齢別にみると、40 代以下では「エネルギー」「I o T・A I・ロボット」、70 代以上では「環境」が他の年齢と比べ高くなっています。



問 貴社が今後の事業展開に活かしたい岸和田市の地域資源は何ですか。（地域資源とのコラボレーション、地域資源を使った商品開発等）（〇はいくつでも）

今後の事業展開に活かしたい岸和田市の地域資源についてみると、「特にない」が60.8%と最も高く、次いで「だんじり」が11.3%、「水なす・彩誉（にんじん）などの農産物」が8.1%となっています。

全体(n=717)



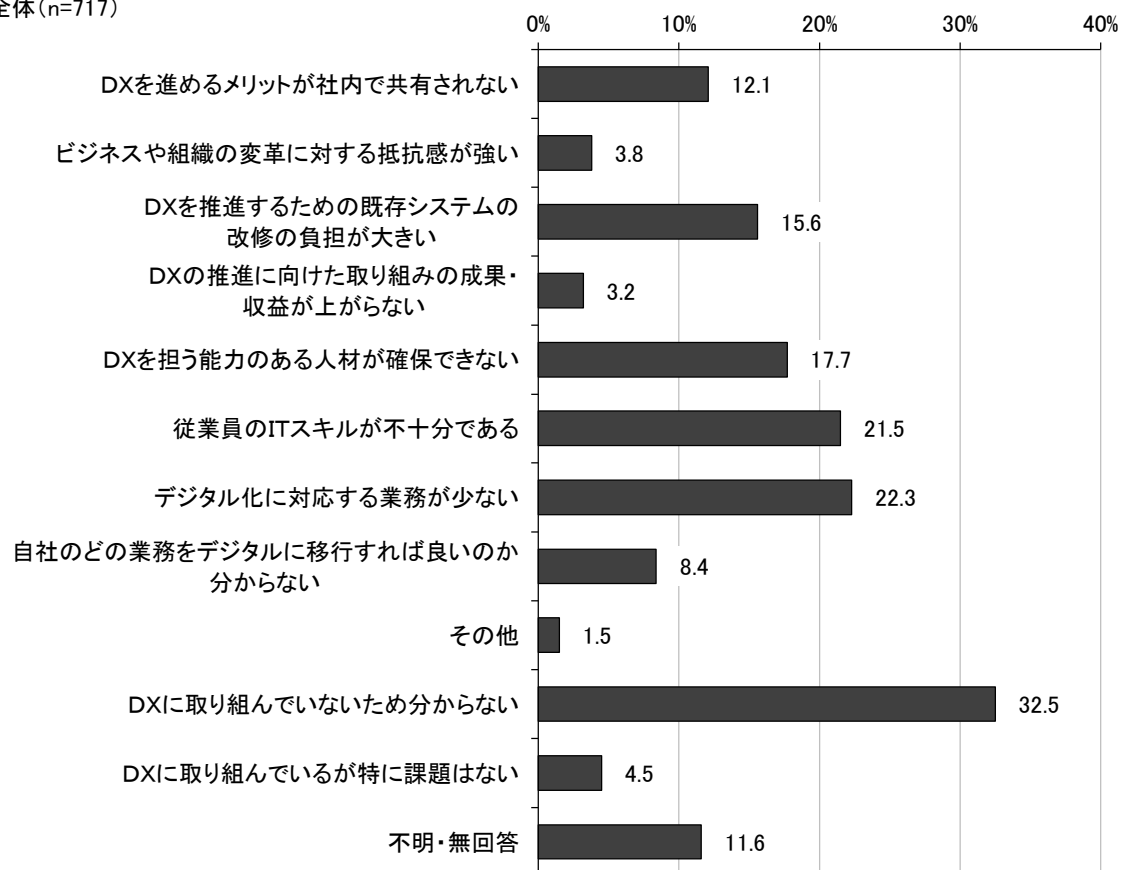
【その他の回答】

記述内容	件数	記述内容	件数
岸和田産木材の活用	1	土地が広い	1
人とのふれあい	1	海浜開発	1
複合施設（スーパーなど）	1	ブナ原生林	1
岸見焼却所	1	キンビズとの経営アドバイス	1
岸和田サービスエリア	1	大阪市内への交通の利便性	1
マリン事業	1	地場特産物	1
防災	1	スポーツ施設	1
市の所有地の売却	1	精神科病院	1
山岳部の開発、造成	1	茶菓子	1

問 全国的にDX（デジタルトランスフォーメーション）の動きがみられますが、貴社のDX対応における課題は何ですか。（〇はいくつでも）

DX対応における課題についてみると、「DXに取り組んでいないため分からない」が32.5%と最も高く、次いで「デジタル化に対応する業務が少ない」が22.3%、「従業員のITスキルが不十分である」が21.5%となっています。

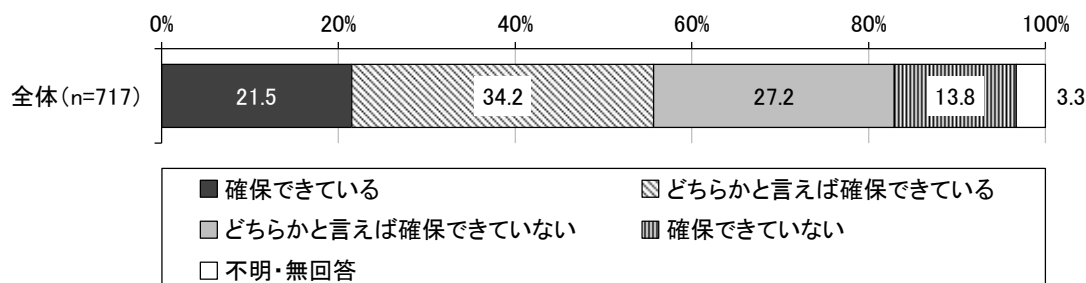
全体(n=717)



4 人材について

問 貴社では、必要な人材が確保できていますか。(〇は1つ)

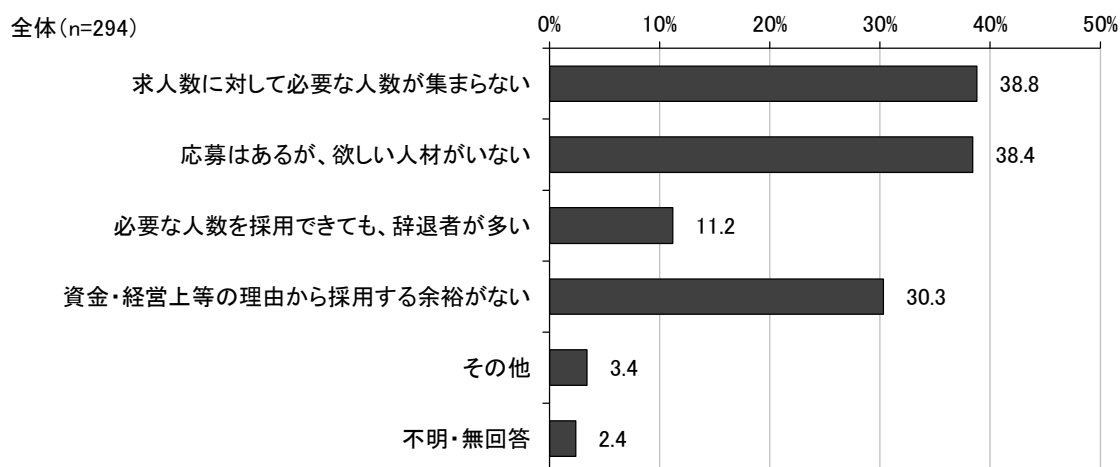
必要な人材が確保できているかについてみると、「どちらかと言えば確保できている」が34.2%と最も高く、次いで「どちらかと言えば確保できていない」が27.2%、「確保できている」が21.5%となっています。



前問で「どちらかと言えば確保できていない」又は「確保できていない」と答えた事業者

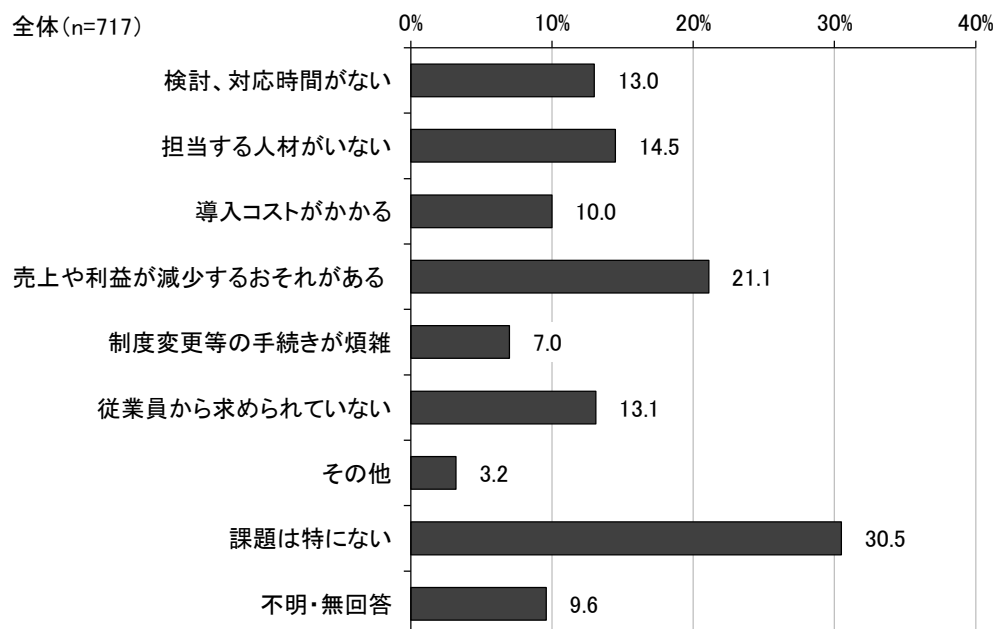
問 必要な人数を確保する場合の課題を教えてください。(〇は最大2つまで)

必要な人数を確保する場合の課題についてみると、「求人数に対して必要な人数が集まらない」が38.8%と最も高く、次いで「応募はあるが、欲しい人材がいない」が38.4%、「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」が30.3%となっています。



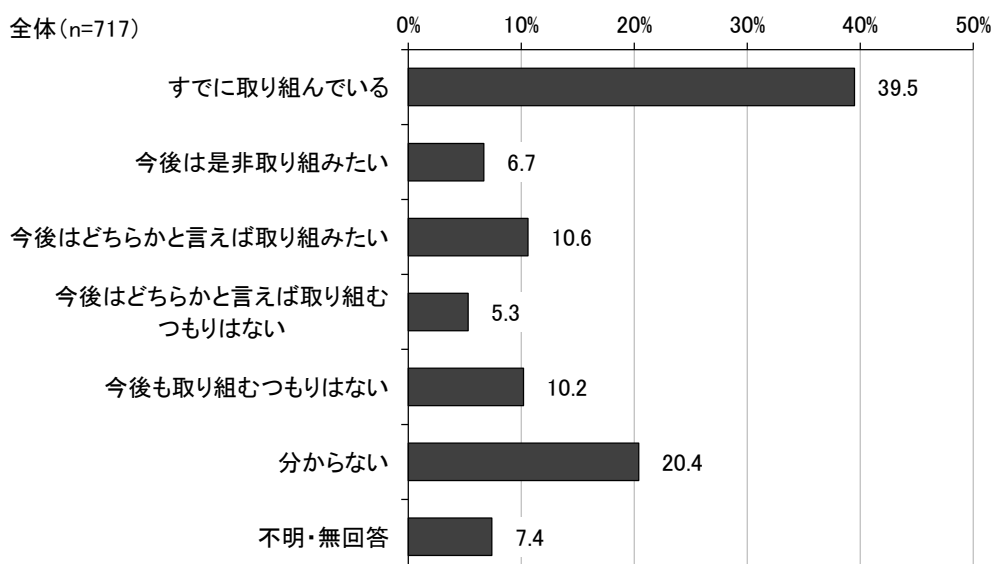
問 働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進における課題は何ですか。(〇は最大2つまで)

働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進における課題についてみると、「課題は特にない」が30.5%と最も高く、次いで「売上や利益が減少するおそれがある」が21.1%、「担当する人材がいない」が14.5%となっています。



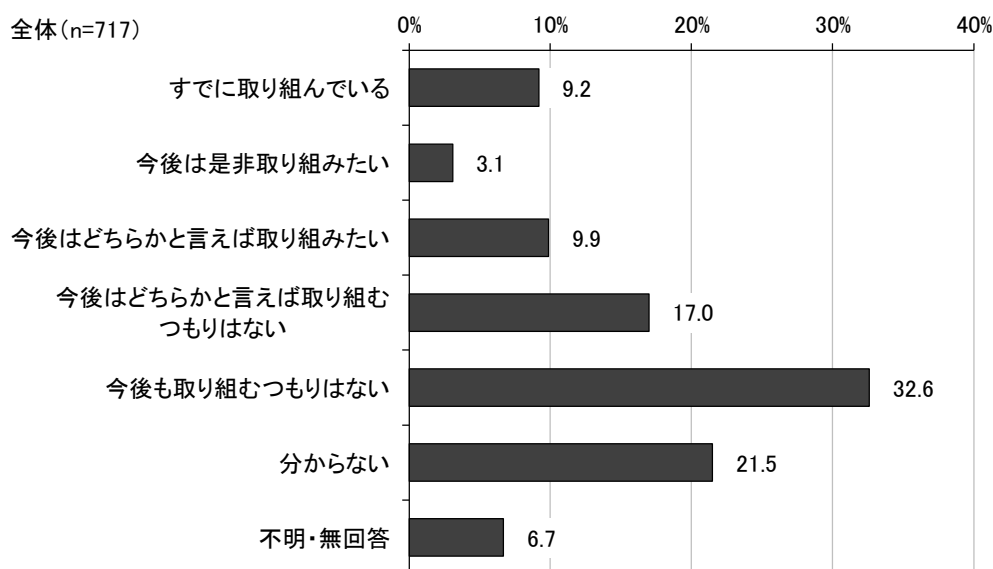
問 貴社では、定年退職後の高齢者の再雇用について、どのように考えますか。(〇は1つ)

定年退職後の高齢者の再雇用についてみると、「すでに取り組んでいる」が39.5%と最も高く、次いで「分からない」が20.4%、「今後はどちらかと言えば取り組みたい」が10.6%となっています。



問 貴社では、外国人の雇用について、どのように考えますか。(〇は1つ)

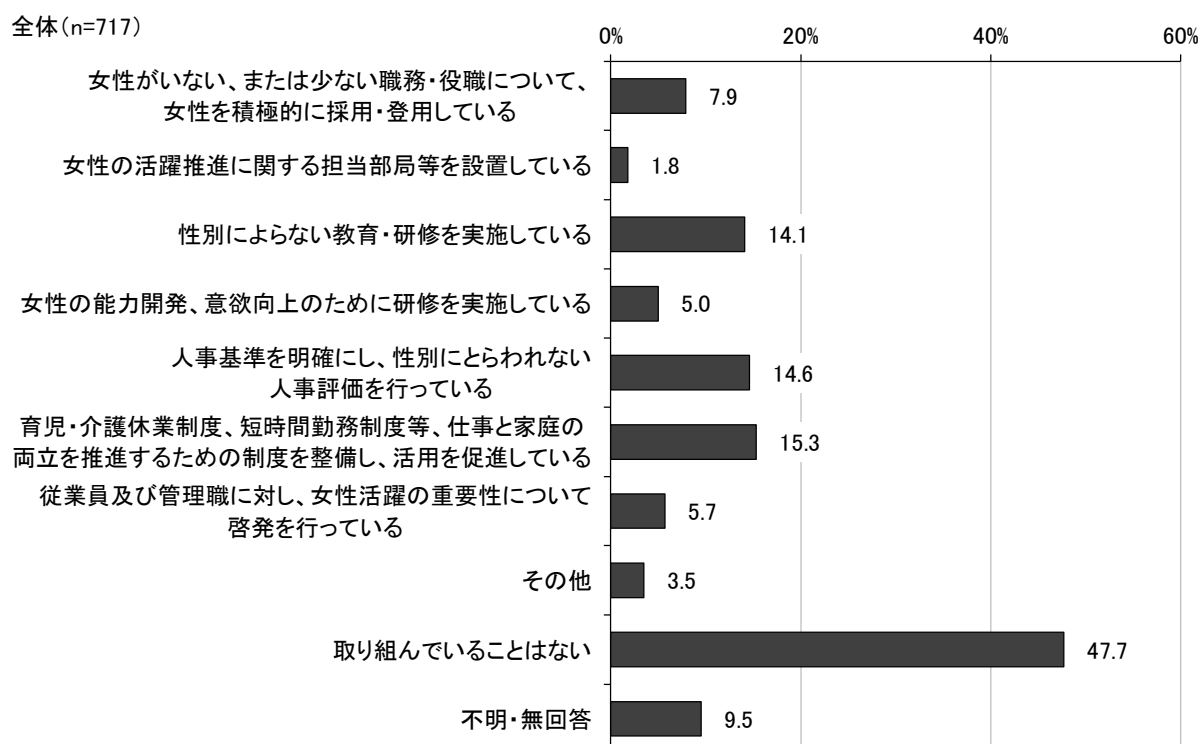
外国人の雇用についてみると、「今後も取り組むつもりはない」が 32.6%と最も高く、次いで「分からない」が 21.5%、「今後はどちらかと言えば取り組むつもりはない」が 17.0%となっています。



問 貴社では、女性の活躍を推進するために、どのようなことに取り組んでいますか。

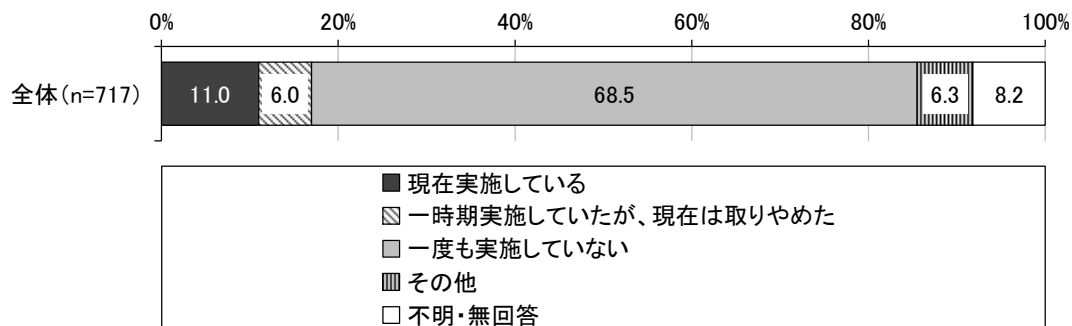
(〇はいくつでも)

女性の活躍を推進するための取り組みについてみると、「取り組んでいることはない」が 47.7%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度、短時間勤務制度等、仕事と家庭の両立を推進するための制度を整備し、活用を促進している」が 15.3%、「人事基準を明確にし、性別にとらわれない人事評価を行っている」が 14.6%となっています。



問 貴社ではテレワークを実施していますか。(〇は1つ)

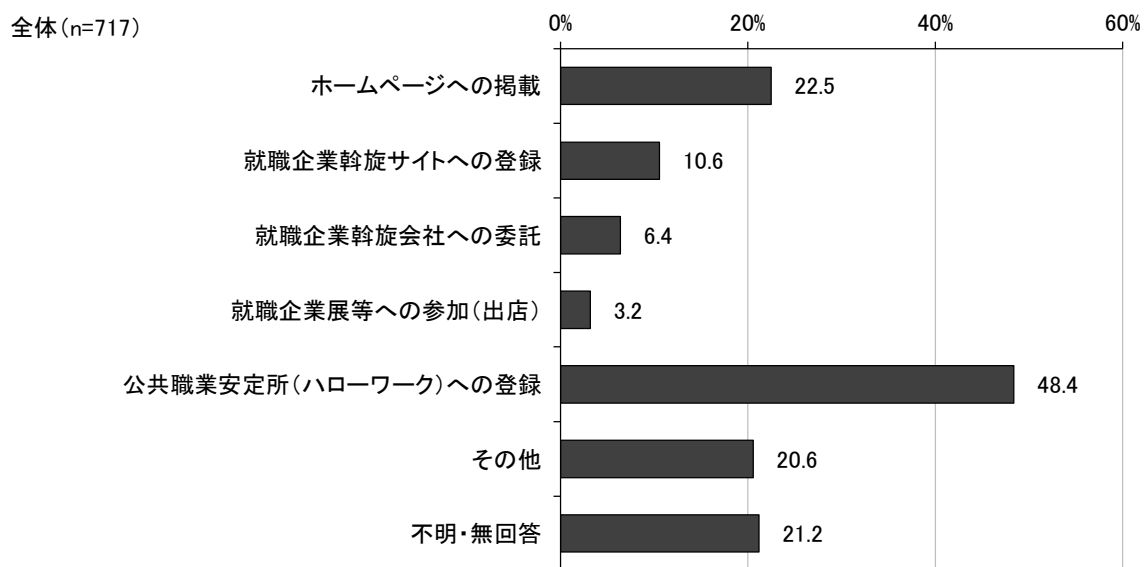
テレワークの実施状況についてみると、「一度も実施していない」が68.5%と最も高く、次いで「現在実施している」が11.0%、「一時期実施していたが、現在は取りやめた」が6.0%となっています。



問 貴社が行っている採用案内方法について教えてください。(〇はいくつでも)

行っている採用案内方法についてみると、「公共職業安定所（ハローワーク）への登録」が48.4%と最も高く、次いで「ホームページへの掲載」が22.5%、「就職企業斡旋サイトへの登録」が10.6%となっています。

業種別にみると、卸売業では「ホームページへの掲載」が他の業種と比べ低く、金融・保険では「就職企業展等への参加（出店）」が他の業種と比べ高くなっています。

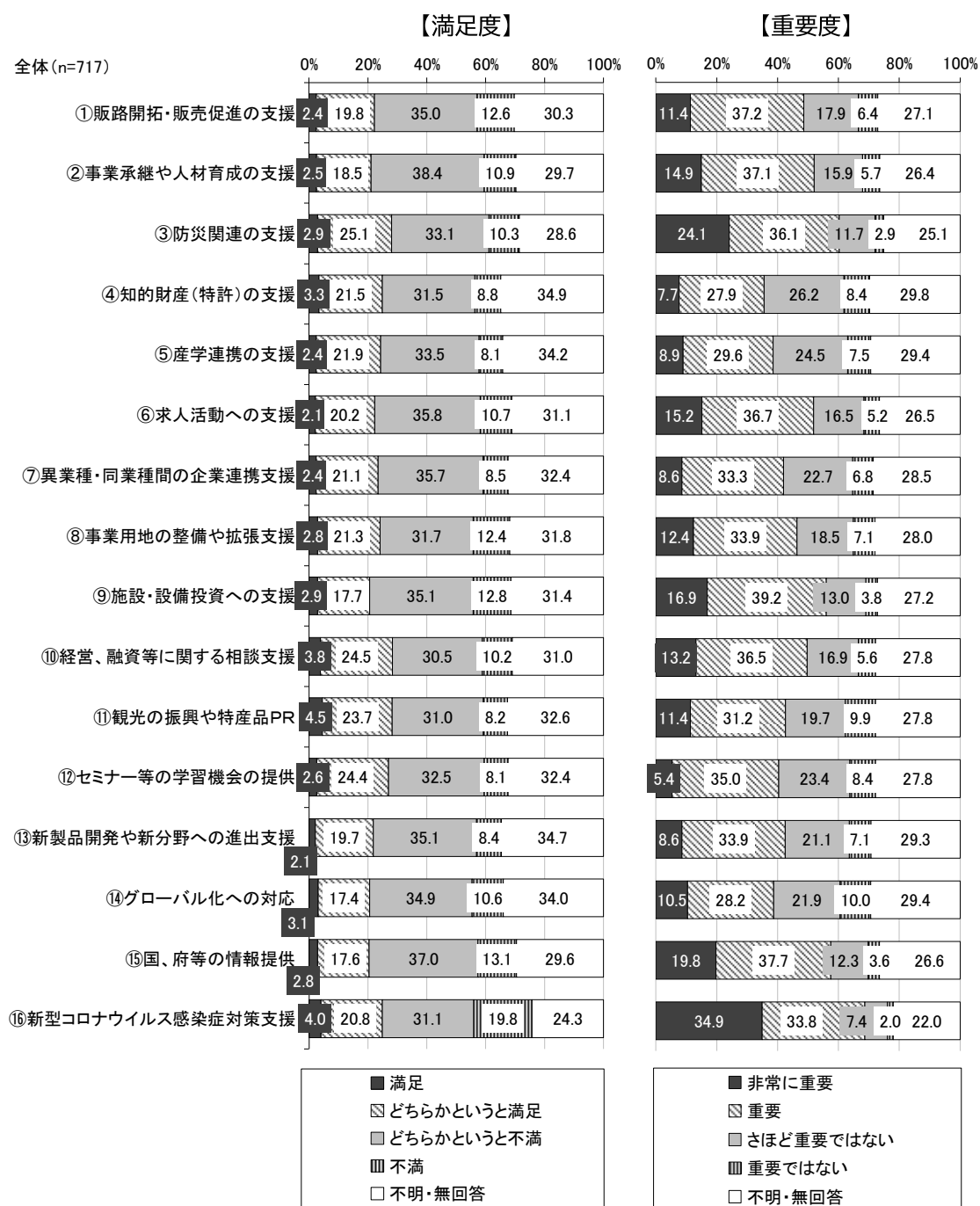


5 市の取り組みについて

問 岸和田市における以下のような取り組みの現在の満足度と今後の重要度を、どのように感じますか。(満足度・重要度それぞれに○は1つ)

岸和田市における取り組みの現在の満足度についてみると、③防災関連の支援、⑩経営、融資等に関する相談支援、⑪観光の振興や特産品PR、⑫セミナー等の学習機会の提供では『満足している』(「満足」と「どちらかという満足」の計)が2割台後半となっています。また、②事業承継や人材育成の支援、⑮国、府等の情報提供、⑯新型コロナウイルス感染症対策支援では『不満である』(「どちらかという不満」と「不満」の計)が約5割となっています。

今後の重要度についてみると、③防災関連の支援、⑯新型コロナウイルス感染症対策支援では『重要である』(「非常に重要」と「重要」の計)が6割台となっています。

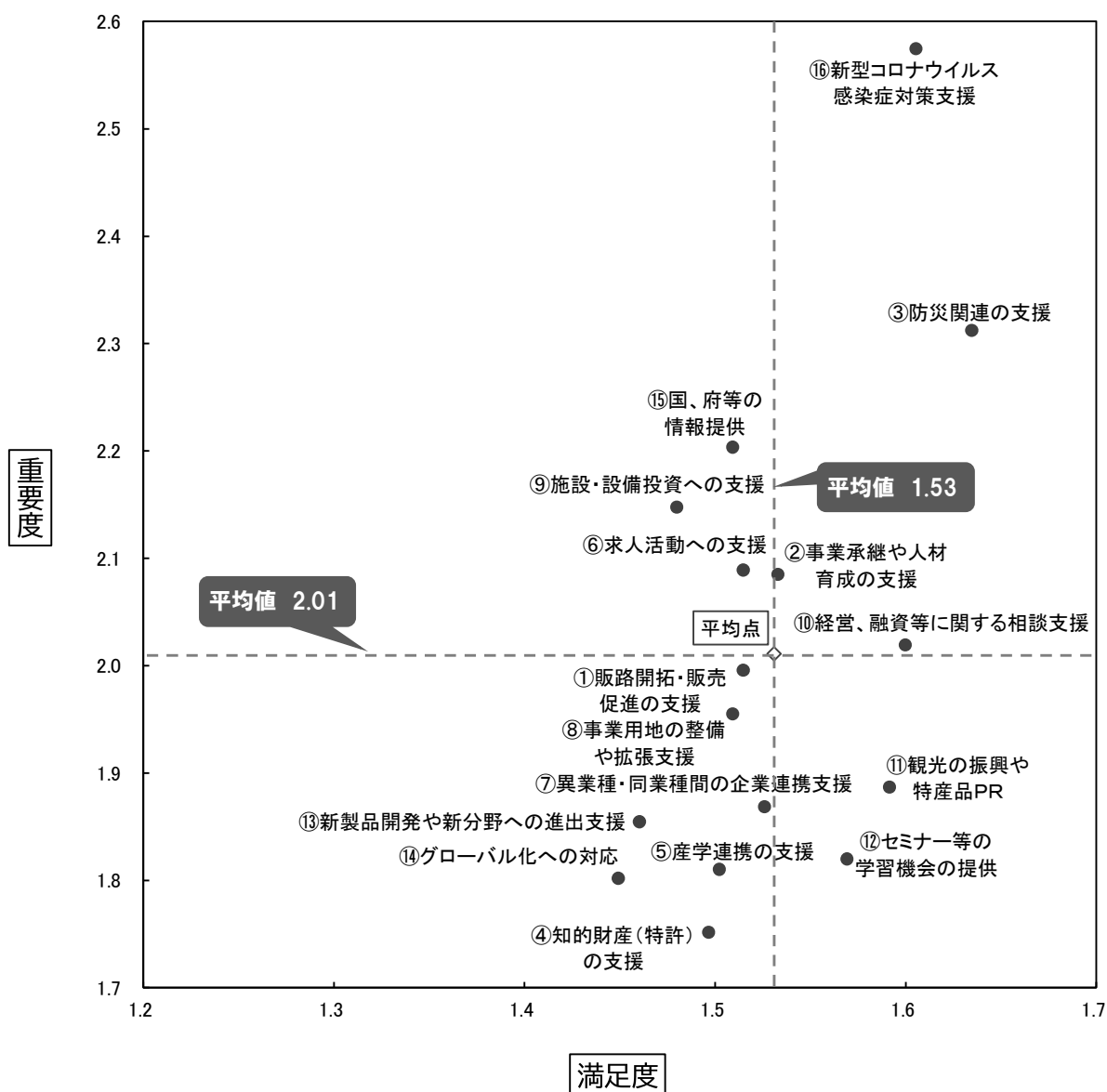


【岸和田市における取り組みの満足度・重要度の散布図】

岸和田市における取り組みの各項目に対して、「満足度」と「重要度」の関係を分析するため回答結果をそれぞれ点数化しました。

満足度についてみると、「③防災関連の支援」が最も高く、次いで「⑩新型コロナウイルス感染症対策支援」、「⑩経営、融資等に関する相談支援」となっています。

重要度についてみると、「⑩新型コロナウイルス感染症対策支援」が最も高く、次いで「③防災関連の支援」、「⑩国、府等の情報提供」となっています。



満足度・重要度の点数算出方法は以下の通り。

満足度 = (「満足」の件数 × 4点 + 「どちらかという満足」の件数 × 3点 + 「どちらかという不満」の件数 × 2点 + 「不満」の件数 × 1点 + 「不明・無回答」の件数 × 0点) ÷ (回答者数)

重要度 = (「非常に重要」の件数 × 4点 + 「重要」の件数 × 3点 + 「さほど重要ではない」の件数 × 2点 + 「重要ではない」の件数 × 1点 + 「不明・無回答」の件数 × 0点) ÷ (回答者数)

6 将来の岸和田市の産業にとって重要なキーワードについて

問 最後に、将来（概ね 10 年後）の岸和田市の産業発展にとって重要なキーワードは何だとお考えですか。キーワードを挙げた理由やアイデアと共に、下の枠に記載してください。（自由記述）

※あがってきた意見を中小企業振興条例にある「振興施策の基本方針」の項目に沿って分類しました。

【1. 経営の革新、経営基盤に関すること】

感染症対策の推進、スピード感と連携の必要性、環境や人に優しい企業経営、地元商品の周知、SDGs が主なキーワードとして挙がっています。

【2. 創業・起業、新事業】

創業・起業につなげるため、IT 関連企業の誘致があるほか、土地利用として、工業用地の拡大、市街化区域の整備、交通網の整備による流通の促進、駅周辺や木材コンビナート跡地の活性化、山手地区の開発などが挙がっています。

また、新たな産業の展開として、だんじり以外の魅力開発と発信、グローバル化、林業（間伐、竹林伐採）、基幹となる産業の育成、低炭素社会に向けた地域循環エネルギー網の構築、スポーツに関わる産業の振興、久米田池・岸和田城を活かした観光などがあがっています。

【3. 地域産業・地域経済政策】

だんじりを活かした産業振興及び脱だんじりの産業振興の両面の意見があがっています。その他、岸和田城や競輪場の活用、積極的な企業誘致、関西国際空港の活用、万博後の IR 事業に絡んだ観光事業の強化、商店街の再生、地産地消、何かに特化した地区の形成、閉鎖性の打破、山間部の活用などといった意見があがっています。

【4. 人材】

教育や集まる場所づくりなど、若者が住みたくなるまちづくりの重要性が多くあがっています。その他、広域での取り組み、リスク管理、マンション誘致・空き家活用などの人口増加策、大学誘致、外国人の受け入れと教育・支援などといった意見があがっています。

【5. 産業を支える機関】

国・府との連携の必要性、産学官の交流、市内企業への優先的な発注、インバウンド誘客の取り組みなどといった意見があがっています。